

独立行政法人国立病院機構  
長崎医療センター

公的医療機関等2025プラン

平成29年11月 策定



## 【1. 現状と課題】

### ① 構想区域の現状 （長崎県地域医療構想より抜粋）

- ◆ 長崎県は人口減少のスピードが九州で最も早く全国でも8番目に減少幅が大きくなっている。しかし、当院の所在する県央区域においては、人口減少は緩やかであり、減少割合(2025/2014)では全国平均と変わらないところである。
- ◆ 高齢化については、長崎県の離島ではすでにピークを過ぎ減少傾向であるものの、県全域で2025年までは増加していく。
- ◆ 県内でも高度急性期、急性期の機能が充実な区域である。
- ◆ 慢性期の病床が多いが回復期の病床が不足している。
- ◆ 東彼杵郡は高度急性期、急性期の拠点病院まで距離が長く、隣接する佐賀県への流出が見られる。
- ◆ 隣接する県南区域からの流入が35%を越えており、県央区域のみならず県南区域の高度急性期、急性期の機能を担っている。

### ② 構想区域の課題 （長崎県地域医療構想より抜粋）

- ◆ 東彼杵郡での医療機能不足（整形外科、循環器内科）への対策
- ◆ 在宅療養支援診療所数は長崎県の平均より高いものの、今後の医療需要拡大が推計されておりさらなる充実が求められている。
- ◆ 回復期病床の確保
- ◆ 一部の領域（循環器系）において医療機能が分散化し、その結果一施設の件数が少なくなっている。機能の集約等により効率的な医療提供への取り組みが必要。

### ③ 自施設の現状

#### ●5疾病・5事業および在宅医療の医療体制にかかる当院の現状

##### <がん>

県央地域の唯一のがん診療拠点病院として、小児がんを除くすべてのがんに対して診療を行っている。

DPC公開データからも当院のシェアは高い。

##### <脳卒中>

県央地域の高次脳卒中センターとして位置づけられ、地域の中心的役割を担っている。また、脳卒中ホットライン（NMC-SHOT）を開設し、スムーズな救急隊からの受け入れ要請を構築している。

DPC公開データからも手術を要する脳卒中患者のシェアは高い。

##### <急性心筋梗塞>

DPC データを見ると循環器疾患については、県央地域は主に当院を含む3病院が担っているが、当院のシェアは高く、急性心筋梗塞においても当院のシェア高い。2017年8月から地域の開業医からの循環器内科医への直通電話を開設し連携強化を図っている。

##### <糖尿病>

専門医を有し入院診療を行っている。特に糖尿病を合併している患者の入院診療を行える施設が少なく当院が担っている。

##### <精神疾患>

精神病床を有し、精神疾患を有する患者の身体症状の治療を中心に行っている。

##### <救急医療>

地域唯一の救命救急センターとして、またドクターヘリ基幹施設として、県央、県南、離島地域を中心に長崎県内全域に対して救急医療を担っている。

当院の所在する県央地域広域市町村圏組合の救急患者搬送実績（2016年）では、当院へ搬送する割合は32.5%（3372/10376）と当該地域で一番の搬送先であり、県央地域のみならず県南地域の救急医療も担っている。

##### <災害時における医療>

災害拠点病院として救命救急センター中心に災害への対策を行っている。

##### <へき地の医療>

へき地拠点病院として離島への診療援助、ヘリ搬送等を含む離島患者の受け入れ等を行っている。

##### <周産期医療>

総合周産期母子医療センターとして全県域から患者を受け入れている。

##### <小児救急医療を含む小児医療（その他）>

救命救急センターを有し、24時間365日、小児科医が対応できる体制を取っている。

##### <在宅医療>

直接的には当院では医療を提供していないが、地域の医療機関と連携を取りながら在宅医療の支援を行っている。

### ④ 自施設の課題

高度急性期医療、急性期医療へは十分に対応できている。ただし、地域の回復期病床が不足しており、転院調整等に苦慮している。さらなる地域の医療機関との連携によりスムーズな転院調整を行っていくことが課題と考える。地域の回復期病床が十分に確保できるよう関係機関と調整を図っていく。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

5疾病・5事業における高度急性期および急性期医療分野を中心的に担っていく。  
そのために引き続き医療体制の充実を図っていく。

② 今後持つべき病床機能

高度急性期病床および急性期病床を継続していく。

③ その他見直すべき点

特記事項無し。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

|       | 現在<br>(平成28年度病床機能報告) |   | 将来<br>(2025年度) |
|-------|----------------------|---|----------------|
| 高度急性期 | 278床                 | → | 278床           |
| 急性期   | 332床                 |   | 332床           |
| 回復期   | 0床                   |   | 0床             |
| 慢性期   | 0床                   |   | 0床             |
| (合計)  | 610床                 |   | 610床           |

<年次スケジュール>

|                 | 取組内容 | 到達目標 | (参考)<br>関連施策等  |
|-----------------|------|------|--|
| 2017年度          |      |      | <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;">                     2年間程度で<br/>集中的な検討を促進                 </div><br><div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">第7期<br/>介護保険<br/>事業計画</div> <div style="background-color: #90ee90; padding: 5px; text-align: center; writing-mode: vertical-rl;">第7次医療計画</div> </div><br><div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 20px;">第8期<br/>介護保険<br/>事業計画</div> |
| 2018年度          |      |      |  |
| 2019～2020<br>年度 |      |      |  |
| 2021～2023<br>年度 |      |      |  |

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

|       | 現在<br>(本プラン策定時点) |   | 将来<br>(2025年度) |
|-------|------------------|---|----------------|
| 維持    |                  | → |                |
| 新設    |                  | → |                |
| 廃止    |                  | → |                |
| 変更・統合 |                  | → |                |

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：
  - 2016年度実績 高度急性期 89.7%、急性期 88.6%
  - 2025年度目標 高度急性期 90.0%、急性期 90.0%
- ・ 手術室稼働率：
  - 2016年度実績 2.1件/室
  - 2025年度目標 2.3件/室
  - ※時間による稼働率 9:00-17:00の手術総時間÷(手術室数×8時間)
  - 2016.2実績 57.9% → 2025年度目標 60%
- ・ 紹介率：
  - 2016年度実績 83.0%
  - 2025年度目標 90.0%
- ・ 逆紹介率
  - 2016年度実績 102.8%
  - 2025年度目標 110.0%

経営に関する項目\*

- ・ 人件費率：
  - 2016年度実績 43.7%
  - 2025年度目標 44.0%
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用(職員研修費等)の割合：
  - 2016年度実績 0.25%
  - 2025年度目標 0.3%

\* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

県央地域の高度急性期病院として役割を果たしていく。さらに県南地域からの流入が示すように県南地域の高度医療も担っており、引き続き高度急性期医療、急性期医療を継続的に提供できるよう体制を維持していく。